令和３年度

シラバス

青翔開智高等学校

第２学年

もくじ

現代文B・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3

古典B・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4

世界史B・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

日本史B・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6

地理B・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7

数学Ⅱ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8～9

数学B・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10～11

数学研究・・・・・・・・・・・・・・・・・・　12

物理基礎・物理・・・・・・・・・・・・・・・　13～14

化学基礎・・・・・・・・・・・・・・・・・・　15

生物基礎・生物・・・・・・・・・・・・・・・　16～18

体育・保健（男子・女子）・・・・・・・・・　19～20

コミュニケーション英語Ⅱ・・・・・・・・・・　21

探究基礎Ⅴ・・・・・・・・・・・・・・・・・　22

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
国語	現代文B	2	高校2年	必修

科目の目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語力の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。					
学習内容の概要	評論の読解ではその技術だけでなく重要テーマについての知識も同時に身につける。 小説の読解では文学研究の手法で本文理解だけにとどまらない鑑賞方法を学習する。 漢字もしくは語句、文学史についての学習にも取り組むまた、月1回程度表現活動を実施、表現および教科書外のテーマについても学習する。 （人間探究コースでは、演習と文学史の時間を多くとる予定。）					
評価の観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解	
	各言語活動に積極的に参加しているか。	目的や場に応じて的確に聞き取り、自分の意見をまとめ深めることができているか。	必要な情報を用い目的に応じた文章を書き、自分の考えを深めることができているか。	近代以降の文章を的確に読み取り、目的に応じて幅広く読み取ることができているか。	読解に必要な知識を習得することができているか。	
評価の方法	探究スキルラーニング・小テスト・提出物等			40%	単元テスト	60%
教科書・教材等	精選 現代文B 新訂版(大修館書店)、精選 現代文B［新訂版］学習課題ノート(大修館書店)、読解現代文必携 キーワードの卵(尚文出版)					
授業形態	一斉					

年間学習計画

学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ		
1	4	ガイダンス		1				
		「ミロのヴィーナス」	筆者の意見を読み取る	6				
	5	「豊かさとつながり」	定義と主張に則して文章を図式的に整理する	10				
	6							
	7	「山月記」	自分と「自己」との関係について考察する 近現代の文学作品に対する理解を深める	8	○	8	15	
2	8	問題演習	文学的文章についての問題の解き方を学ぶ	2				
	9	「生命情報・社会情報・機械情報」	評論文の読解方法を学ぶ 「言語」に対する理解を深める	7				
	10	「敬語への自覚、他者への自覚」	日本語に対する理解を深める	7				
		詩と鑑賞文	文学作品を論理的な文章に則して読み解く	7	○	8	15	5
	11							
		問題演習	複数の文章についての問題の解き方を学ぶ	2				
	12	「棒になった男」	戯曲の読み取り方を学ぶ 社会や人のあり方についての理解を深める	9	○	8	15	15
3	1							
		問題演習	特殊な文章についての問題の解き方を学ぶ	2				
	2	「世界はいま―『多文化世界』の構築」	日本の「近代」のあり方について考察する	7				
	3	問題演習	共通テストの問題を解く	3				

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
国語	古典B	3	高校2年	必修

科目の目標	古文と漢文を読解する技術および必要な知識を身につける。 ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深める。				
学習内容の概要	古文は、講義・演習・小テストによって、基本的な知識の定着を図る。同時に、難解な演習問題に取り組むことによって知識のアウトプットをはかるとともに、文学史も学習する。漢文は、講義・演習・小テストによって、入試問題の読解に向けた知識の定着を図る。				
評価の観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解・技能
	各言語活動に積極的に参加し、伝統や文化への関心を深めようとしているか。	目的や場に応じて的確に聞き取り、自分の意見をまとめ深めることができているか。	相手や目的に応じた適切な文章を書くことができているか。	思想や感情を的確に読み取り、その価値を考察できているか。	読解に必要な知識を習得することができているか。
評価の方法	探究スキルラーニング・小テスト・提出物等			40%	単元テスト 60%
教科書・教材等	精選 古典B 改訂版(大修館書店)、精選 古典B[改訂版]学習課題ノート(大修館書店)、体系古典文法(数研出版)、みるみる覚える古文単語300+30(いいずな書店)、新明説漢文(尚文出版)、ビジュアルカラー国語便覧(大修館書店)				
授業形態	習熟度別				

年間学習計画

学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ	
1学期	4	ガイダンス		1			
		「宇治拾遺物語」	語の識別 辞書学習 古典常識の復習および定着の確認	6			
	5	「十訓抄」		8			
		平安文化を知ろう	平安文化に関する本の内容をまとめ発表する	8	○	14	17
	6	故事成語	故事成語の由来と意味を理解する	6			
	7	「伊勢物語」	語の識別・和歌の修辞法を理解する	6			
		古典エッセイ	古典作品のものの見方・考え方を現代と比較して考察する	7	○	15	17
2学期	8						
	9	史伝	再読文字や読解に必要な疑問、使役、受身を中心とした句法を習得する	10			
	10	「土佐日記」	敬語の用法を習得する	8			
	11	演習問題		5			
		「源氏物語」		9			
	12						
3学期		「論語」	中国思想および漢文常識を理解する	9			
	1	演習問題		6			
	2	漢詩		5			
		「大鏡」／演習問題	入試対策	13			
	3						

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
地理・歴史	世界史B	4	高校2年	必修

科目の目標	①先人たちが築いてきた「起因→目的→手段→結果→影響」のプロセスを学び、現代社会の形成過程を説明できる。 ②現代社会が抱える諸課題を、①を活用し、多面的かつ根本的視点から考え、説明できる。 ③人生において、①を活用し、自らにとって最適な選択をできるようになる。			
学習内容の概要	古代から近現代までの通史を、教科書・資料・映像・遺物等を用いながら幅広く学ぶ。授業では、「起因→目的→手段→結果→影響」のプロセスを大切にし、先人がなぜその選択をしたのか（せざるを得なかったのか）という理由を考察しながら進めていく。また、大学入試を見据え準拠ワークの用語を7割程度答えられることを最低目標とし、同時に「理由説明記述」「大論述」に取り組んでいく。			
評価の観点	知識・技能 用語を適切に理解しているか。月一の小テスト「世ッチャレ」にて評価する。 6点×10回＝計60点	資料活用 資料を適切に読み解き、考察しているか。レポート・口頭試問等で評価する。 5点×3回＝計15点	思考・判断・表現 特定の歴史的事象に関し深く探究し自分の考えを加え表現しているか。成果物で評価する。 5点×3回＝計15点	主体的な姿勢 授業への主体的な取り組み、課題・レポート提出等を総合的に鑑み評価する。
評価の方法	60 %	15 %	15 %	10 %
教科書・教材等	詳説世界史B（山川）、タペストリー（帝国書院）、必修整理ノート（文英堂）、世界史10分間テスト（山川）			
授業形態	一斉			

年間学習計画

学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ		
1	4	先史・古代オリエント	ノート1・2	4				
		ギリシア・ヘレニズム	ノート3・4	4				
	5	ローマ	ノート5・6	8				
		キリスト教・イラン史	ノート7・8	8				
	6	古代インド	ノート9・10	8				
		古代中国・南北アメリカ	ノート11・12・13	8				
	7	探究活動①	調査活動	4				
		夏季休業	成果物①作成					
2	8	北方民族・魏晋南北・隋唐	ノート14・15	4				
	9	イスラームの形成	ノート16	4				
		イスラームの拡大	ノート17	8				
	10	ヨーロッパ成立・西欧封建社会	ノート18・19	8				
		荘園制度・教皇権・中央集権化	ノート20・21・22	8				
	11	五代十国・宋	ノート23	8				
		モンゴル帝国・元・東方諸国	ノート24・25	8				
	12	明・清	ノート26・27	8				
		探究活動②	調査活動・成果物②作成	4	○	6	5	26
3	1	ティムール・オスマン・ムガル	ノート28	4				
		大航海時代・宗教改革	ノート29・30・31	8				
	2	主権国家体制の成立	ノート32・33	8				
		イギリス革命・植民地抗争	ノート34・35	8				
	3	探究活動③	調査活動・成果物③作成	4	○	3	17	37
		年間まとめ	年間まとめ	4				

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
地理・歴史	日本史B	4	高校2年	選択

科目の目標	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察する。			
学習内容の概要	2年次は原始・古代～近世までの歴史を学習し、日本の移り変わりを世界の流れと関連付けながら多面的に考察していく。			
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
	日本・世界の歴史に関する関心を高め、意欲的に追求し、社会を構成する一員として自覚と責任を考えることができる。	歴史的事象から課題を見いだし、意義や特色、相互の関連性を多面的に考察し、表現することができる。	日本・世界の歴史に関する諸資料から有用な情報を適切に選択し、効果的に活用している。	歴史的事象の意義や特色、相互の関連を理解し、知識を身につけ、活用することができる。
評価の方法	単元テスト 60% 探究スキルラーニング 40% 授業態度等			
教科書・教材等	詳細日本史（山川出版）			
授業形態	一斉			

年間学習計画

学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ	
1	4	第1章　日本文化のあけぼの 第2章　律令国家の形成	・①文化のはじまり～③古墳とヤマト政権 ・①飛鳥の朝廷～⑤平安王朝の形成 ・単元末演習	16 16 6	○	4	
	5						
	6	第3章　貴族政治と国風文化 第4章　中世社会の成立	・①摂関政治～③地方政治の展開と文化 ・①院政と平氏の台頭～⑤鎌倉文化 ・単元末演習	18 16 6	○	4	9
	7						
2	8						
	9						
	10	第5章　武家社会の成長 第6章　幕藩体制の確立	・①室町幕府の成立～④戦国大名の登場 ・①織豊政権～④幕藩社会の構造 ・単元末演習	18 16 6	○	4	14
	11						
	12						
3	1	第7章　幕藩体制の展開 第8章　幕藩体制の動揺	・①幕政の安定～③元禄文化 ・①幕政の改革～④化政文化 ・単元末演習	16 16 6	○	4	7
	2						
	3						

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
地理・歴史	地理B	4	高校2年	選択

科目の目標	地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きるための自覚と資質を養う。			
学習内容の概要	現代世界の諸地域を、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養う。 各単元の事項について構造的に理解した上で、各種資料・自己の経験・知識などの諸事象を再認識する。			
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
	作業的、体験的学習を通して地理的事象を考察するための技能を身に付ける。	現代世界の地理的諸事象を系統地理的に考察し、諸課題にて地球的視野から理解できる。	さまざまな地図の活用、統計・画像・文献などの地理情報の収集・選択・処理を通して空間的に広がる諸事象の規則性や傾向性を考察する。	世界の諸地域の特色や課題を多角的・多面的に考察できる。
評価の方法	単元末テスト 60%		成果物・提出物・各活動における意欲と態度 40%	
教科書・教材等	新詳地理B（帝国書院）、新詳高等地図（帝国書院）、地理統計要覧2021（二宮書店）			
授業形態	一斉			

年間学習計画

学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ
1	4	さまざまな地図と地理的技能	1. 地理情報と地図 2. 地図の活用と地域調査	16		
	5	現代世界の系統地理的考察	1. 自然環境 地形,気候,環境問題	24		
	6					
	7		2. 資源と産業 農林水産業,食糧問題,資源・エネルギー,工業,第3次産業,交通・通信,貿易と経済圏	36		
2	8					
	9		3. 人口,村落・都市	18		
	10					
	11		4. 生活文化,民族・宗教 衣食住,民族と宗教,領土問題	16		
	12	現代世界の地誌的考察	1. 現代世界の地域区分	8		
3	1		2. 現代世界の諸地域	38		
			東アジア,東南アジア,南アジア,			
	2		西アジアと中央アジア,			
			北アフリカとサハラ以南のアフリカ,			
	3		ヨーロッパ,ロシア,アングロアメリカ,			
			ラテンアメリカ,オセアニア			

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
数学	数学II	3	高校2年	必修

科目の目標	いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに，それらを活用する態度を育てる。			
学習内容の概要	三角関数，指数関数・対数関数ついて理解し，それらを事象の考察に活用する。複素数と方程式では，方程式についての理解を深め，数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くこと及び因数分解を利用して高次方程式を解く。図形と方程式では，座標や式を用いて，直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に表現し，その有用性を認識するとともに事象に活用する。微分法・積分法では，その考えについて理解するとともに，事象の考察に活用できるようにする。			
評価の観点	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
	各単元における考え方や体系に関心をもつとともに，それらを事象の考察に活用して数学的な考えに基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり，多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，各単元における数学的な見方や考え方を身に付ける。	各単元において，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	各単元における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，知識を身に付けている。
評価の方法	単元テスト 60% 提出物 20% 小テスト 10% 授業態度 10%			
教科書・教材等	改訂版数学Ⅱ（数研出版）、チャート式㊙基礎からの数学Ⅱ+B（数研出版）			
授業形態	習熟度別			

年間学習計画

学期	月	単元	学習内容	時数	TSL	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	図形と方程式	・点と直線 ・円と直線 ・軌跡と領域	20					
	5								
	6	三角関数	・三角関数 ・加法定理	20	○				
	7								
2	8	指数関数と対数関数	・指数関数 ・対数関数 ・常用対数	20	○		○		
	9								
	10	微分法と積分法	・微分係数 ・導関数 ・接線 ・最大値と最小値 ・不定積分 ・定積分 ・面積″	27	○				
	11								
	12								
3	1	入試問題演習	大学入学共通テストや大学個別試験などの問題を題材にし，さまざまな事象を数学的に考察・表現・処理する。	30					
	2								
	3								

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
数学	数学II	3	高校2年	必修

科目の目標	いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに，それらを活用する態度を育てる。			
学習内容の概要	三角関数，指数関数・対数関数ついて理解し，それらを事象の考察に活用する。複素数と方程式では，方程式についての理解を深め，数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くこと及び因数分解を利用して高次方程式を解く。図形と方程式では，座標や式を用いて，直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に表現し，その有用性を認識するとともに事象に活用する。微分法・積分法では，その考えについて理解するとともに，事象の考察に活用できるようにする。			
評価の観点	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
	各単元における考え方や体系に関心をもつとともに，それらを事象の考察に活用して数学的な考えに基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり，多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，各単元における数学的な見方や考え方を身に付ける。	各単元において，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	各単元における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，知識を身に付けている。
評価の方法	単元テスト 60% 提出物 20% 小テスト 10% 授業態度 10%			
教科書・教材等	改訂版数学Ⅱ（数研出版）、数学Ⅲ（数研出版）、チャート式㉘基礎からの数学Ⅱ+B（数研出版）、チャート式㉙基礎からの数学Ⅲ（数研出版）			
授業形態	習熟度別			

年間学習計画

学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	図形と方程式	・点と直線 ・円と直線 ・軌跡と領域	12					
	5	三角関数	・三角関数 ・加法定理	20					
	6								
	7	指数関数と対数関数	・指数関数 ・対数関数 ・常用対数	15					
2	8								
	9	微分法と積分法	・微分係数 ・導関数 ・接線 ・最大値と最小値 ・不定積分 ・定積分 ・面積	25					
	10								
	11	複素数平面	・複素数平面	20					
	12								
3	1	式と曲線	・2次曲線 ・媒介変数表示	15					
	2								
	3	関数	・関数の特徴を理解する	10					

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
数学	数学B	2	高校2年	必修

科目の目標	ベクトル，数列について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに，それらを活用する態度を育てる。			
学習内容の概要	ベクトルの基本的な概念について理解し，その有用性を理解するとともに，事象の考察に活用する。 簡単な数列とその和および漸化式と数学的帰納法について理解し，それらを事象の考察に活用する。			
評価の観点	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
	基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばす。	事象を数学的に考察し表現したり，多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，各単元における数学的な見方や考え方を身に付ける。	ベクトル，数列において，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	ベクトル，数列における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，知識を身に付けている。
評価の方法	単元テスト 60%	提出物 20%	小テスト 10%	授業態度 10%
教科書・教材等	改訂版数学B（数研出版）、チャート式㊙基礎からの数学Ⅱ+B（数研出版）			
授業形態	習熟度別			

年間学習計画

学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ
1	4 5 6 7	数列	数列 等差数列とその和 等比数列とその和 和の記号Σ 階差数列 いろいろな数列 漸化式と数学的帰納法	26		
2	8 9 10 11	平面上のベクトル	位置ベクトル ベクトルと図形 ベクトル方程式	28		
2 3	12 1 2 3	空間のベクトル	空間の座標 空間のベクトル ベクトルの成分 位置ベクトル ベクトルと図形 座標空間における図形	24		

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
数学	数学B	2	高校2年	必修

科目の目標	ベクトル，数列について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに，それらを活用する態度を育てる。			
学習内容の概要	ベクトルの基本的な概念について理解し，その有用性を理解するとともに，事象の考察に活用する。 簡単な数列とその和および漸化式と数学的帰納法について理解し，それらを事象の考察に活用する。			
評価の観点	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
	基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばす。	事象を数学的に考察し表現したり，多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，各単元における数学的な見方や考え方を身に付ける。	ベクトル，数列において，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	ベクトル，数列における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，知識を身に付けている。
評価の方法	単元テスト 60%	提出物 20%	小テスト 10%	授業態度 10%
教科書・教材等	改訂版数学B（数研出版）、チャート式㊙基礎からの数学Ⅱ+B（数研出版）			
授業形態	習熟度別			

年間学習計画

学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ
1	4 5 6	数列	数列 等差数列とその和 等比数列とその和 和の記号Σ 階差数列 いろいろな数列 漸化式と数学的帰納法	20		
1 2	7 8 9	平面上のベクトル	位置ベクトル ベクトルと図形 ベクトル方程式	16		
2	10 11	空間のベクトル	空間の座標 空間のベクトル ベクトルの成分 位置ベクトル ベクトルと図形 座標空間における図形	16		
2 3	12 1 2 3	入試問題演習 数列・ベクトル	大学入試センター試験や大学個別試験などの問題を題材にし，ベクトルや数列を活用してさまざまな事象を数学的に考察・表現・処理する。	26		

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
数学	数学研究Ⅰ	1	高校2年	必修

科目の目標	「数学Ⅰ」「数学A」「数学Ⅱ」「数学B」についての理解をさらに深め、それらの基本的な概念や原理・原則を用いて、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすこと。特に事象をいろいろな角度から考察し、解決に導く能力を伸ばすこと。			
学習内容の概要	「数学Ⅰ」「数学A」「数学Ⅱ」「数学B」での学習をもとに、各単元について知識を整理し、理解をさらに深めるとともに、それらを事象の考察に活用する。			
評価の観点	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
	各単元における考え方や体系に関心をもつとともに，それらを事象の考察に活用して数学的な考えに基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり，多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，各単元における数学的な見方や考え方を身に付ける。	各単元において，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	各単元における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，知識を身に付けている。
評価の方法	単元末テスト　60%　発表・態度　40%			
教科書・教材等	オリジナルテキスト			
授業形態	一斉			

年間学習計画

学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ
1	4	・数と式 ・2次関数 ・データの分析 ・場合の数，確率 ・図形と計量 ・図形の性質 ・整数の性質	数学ⅠAの基礎事項の確認，演習	19		
	5					
	6					
	7					
2	8					
	9					
	10	・式と証明・方程式 ・図形と方程式 ・三角関数 ・指数関数・対数関数 ・微分法，積分法 ・数列 ・ベクトル	数学ⅡBの基礎事項の確認，演習	20		
	11					
	12					
3	1					
	2					
	3					

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
理科	物理基礎	2	高校2年	選択

科目の目標	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察・実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。			
学習内容の概要	「運動の表し方」「力のつり合い」「仕事とエネルギー」「熱とエネルギー」「波の伝わり方」「音の性質」「電流・磁界・電磁波」についての理解を深めるとともに、これらの物理現象を通じてその奥に潜む物理法則について考察する。			
評価の観点	関心・意欲・態度	判断・思考	実験・観察の技能・表現	知識・理解
	物理学と日常生活との関連についての重要性に気付かせ、身近な物理現象やエネルギーへの関心を高める。	物理がかかわる問題に直面したときに、自分の力で解決する方法を見いだす能力と態度を育てる。	様々な探究の過程を通して科学の方法を習得させ、物理学的に探究する能力と態度を育てる。	探究活動などの実践を通して知識を活用する習慣を身に つける。
評価の方法	単元テスト 30%	レポート 30%	成果物 20%	授業態度 20%
教科書・教材等	啓林館『総合物理1』『総合物理2』, 啓林館『センサー総合物理』			
授業形態	一斉			

年間学習計画

学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ
1	4	物体の運動	物理量の測定と表し方, 運動の表し方, 直線運動の加速度	6	○	11
	5	力と運動	さまざまな力, 力のつり合い, 運動の法則	14		
	6					
	6	仕事とエネルギー	仕事, 運動エネルギー, 位置エネルギー, 力学的エネルギーの保存	10		
	7	（ 物理「運動量と力積」履修中 ）				
2	8	（ 物理「円運動と単振動」履修中 ）				
	9					
	9	（ 物理「万有引力」履修中 ）				
	10	熱とエネルギー	熱と温度, 熱量, 熱の利用	10		
	11	波の性質	波の伝わり方, 波の性質	4		
	11	音	音波の性質, 音源の振動	6		
	12	（ 物理「光」履修中 ）				
3	1					
	1	静電気と電流	静電気, 電流	16		
	2					
	2	交流と電磁波	電磁誘導と発電機, 交流と電磁波	8		
	3					
	3	物理と私たちの生活	エネルギーとその利用, 物理学が拓く世界	4		

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
理科	物理	2	高校2年	選択

科目の目標	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察・実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。			
学習内容の概要	「物体の運動」「剛体のつり合い」「運動量と力積」「慣性系と非慣性系」「気体の状態変化と熱・仕事」「正弦波」「ドップラー効果」「光の反射・屈折・回折・干渉」についての理解を深めるとともに、これらの物理現象を通じてその奥に潜んでいる物理法則について深く考察する。			
評価の観点	関心・意欲・態度	判断・思考	実験・観察の技能・表現	知識・理解
	物理学と日常生活との関連についての重要性に気付かせ、身近な物理現象やエネルギーへの関心を高める。	物理がかかわる問題に直面したときに、自分の力で解決する方法を見いだす能力と態度を育てる。	様々な探究の過程を通して科学の方法を習得させ、物理学的に探究する能力と態度を育てる。	探究活動などの実践を通して知識を活用する習慣を身につける。
評価の方法	単元テスト 30%	レポート 30%	成果物 20%	授業態度 20%
教科書・教材等	啓林館『総合物理1』『総合物理2』, 啓林館『センサー総合物理』			
授業形態	一斉			

年間学習計画

学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ
1	4	物体の運動	物理量の測定と表し方, 運動の表し方, 直線運動の加速度, 放物運動	4	○	11
	5	力と運動	さまざまな力, 力のつり合い, 運動の法則	8		
	6	剛体のつり合い	剛体のつり合い	4		
	6 7	仕事とエネルギー	仕事, 運動エネルギー, 位置エネルギー, 力学的エネルギーの保存	8		
	7	運動量と力積	運動量の保存, 反発係数	6		
2	8	円運動と単振動	円運動, 慣性力, 単振動	6	○	11
	9	万有引力	万有引力	3		
		熱とエネルギー	熱と温度, 熱量, 熱と仕事	4		
	10	気体分子の運動	理想気体の状態方程式, 気体分子の熱運動, 熱力学第1法則, 気体の状態変化と熱・仕事, さまざまなエネルギーとその利用	7		
	11	波の性質	波の伝わり方, 波の性質	3		
	11 12	音	音波の性質, 音源の振動, ドップラー効果	6		
	12	光	光の性質, レンズと球面鏡, 光の回折と干渉	6		
3	1	電界と電位	電界, 電位, コンデンサー, 電流, 直流回路	5		
	2	電流と磁界	電流がつくる磁界, 電流が磁界から受ける力, ローレンツ力	5		
	3	電磁誘導と電磁波	電磁誘導, 交流, 電磁波	3		

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
理科	化学	4	自然探究コース2年	必修

科目の目標	化学の基本的な概念や原理・法則を理解すること。習得した知識・原理・法則を使いこなし、設問に対する適切な解を導くこと。科学的思考力および好奇心を伸ばし、主体的に自然を探究する能力と態度を高め、目的をもとに課題を科学的に分析・解決する能力を養うこと。							
学習内容の概要	物質の状態、物質の変化、無機物質、有機化合物、天然有機化合物、合成高分子化合物について理解する。 各器具の取り扱いを、実験を通して学び、自らの目的に応じて必要なものが適切に扱えるようにする。 発展的な内容を多く取り入れ、原理・法則が発見された経緯や技術の応用を理解する。							
評価の観点	関心・意欲・態度		判断・思考		観察・実験の技能・表現		知識・理解	
	化学の事物・現象に関心・探究心をもち、意欲的に解決する態度を身につけようとする。		化学的な事物・現象に問題を見いだし、事象を科学的に考え、判断できる。		化学の事象・現象を科学的に探究する方法を身につけ、過程や結果を的確に表現できる。		化学に関する事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、身につけている。	
評価の方法	単元テスト	30%	レポート	30%	成果物	20%	授業態度	20%
教科書・教材等	数研出版 「104・数研・化学/306 化学」 数研出版「リードα 化学 + 化学基礎」							
授業形態	一斉							

年間学習計画

学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ		
1	4		ガイダンス	4	○	9	10	11
	4 5	物質の状態	粒子の結合と結晶の構造 物質の三態と状態変化 気体 溶液	24				
	6 7	物質の変化	化学反応とエネルギー 電池と電気分解 化学反応の速さと仕組み 化学平衡	20				
2	8 9	無機物質	非金属元素 金属元素（Ⅰ） 金属元素（Ⅱ）	20				
	10 11 12	有機化合物	有機化合物の分類と分析 脂肪族炭化水素 アルコールと関連物質 芳香族化合物	40	○	8	9	
	12	天然物化合物	天然有機化合物 天然高分子化合物	24				
3	1							
	2 3	合成高分子化合物	高分子化合物の性質 合成高分子化合物	24				

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
理科	生物基礎	4	人間探究コース2年	必修

科目の目標	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，生物学的に探究する能力と態度を養う。合わせて,生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し，科学的な見方や考え方を養う。							
学習内容の概要	「生物と遺伝子」,「生物の体内環境の維持」,「生物の多様性と生態系」の学習により，共通性の土台となるDNA，ヒトを中心とした動物の生理，生物の多様性に注目した生態系など，ミクロレベルからマクロレベルまでの領域を学ぶ。							
評価の観点	関心・意欲・態度		判断・思考		観察・実験の技能・表現		知識・理解	
	生物や生物現象が日常生活や社会と深い関わりがあることに関心をもち，意欲的にそれらを探究しようとする。		生物や生物現象に関する科学的な見方や考え方を身につけようとする。		生物や生物現象の中から問題を見いだし，目的意識をもって観察・実験を行うことで，科学の方法を習得しようとする。		観察・実験などを通して生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則などを理解しようとする。	
評価の方法	単元テスト	30%	レポート	30%	成果物	20%	授業態度	20%
教科書・教材等	第一学習社『高等学校　改訂　生物基礎』 第一学習社『標準セミナー　生物基礎』							
授業形態								

年間学習計画

学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ		
1	4	第1編　生物と遺伝子	データサイエンス	8	○	8	10	
	5		生物の多様性と共通性 細胞とエネルギー 遺伝子の本体の構造	30				
	6		遺伝情報の複製と分配 遺伝情報とタンパク質の合成					
	7	第2編　生物の体内環境の維持	体液とその働き	40	○	14		
2	8		体内環境の維持のしくみ					
	9		生体防御					
	10	第3編　生物の多様性と生態系	植生と遷移 バイオームとその分布 生態系	42				
	11		生態系のバランスと保全					
	12							
3	1	総合問題演習	生物と遺伝子 生物の体内環境の維持 生物の多様性と生態系	35				
	2							
	3							

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
理科	生物基礎	2	自然探究コース2年	選択

科目の目標	生物や生物現象への関心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに，生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的な自然観を育成する。							
学習内容の概要	「多様性」と「共通性」を考え方の柱に据え，「生物と遺伝子」,「生物の体内環境の維持」,「生物の多様性と生態系」ついて理解する。 生物学的な探究の方法を身に付けさせる。 生物や生物現象と日常生活や社会とのかかわりを考えることができるようにする。							
評価の観点	関心・意欲・態度		思考・判断		観察・実験の技能・表現		知識・理解	
	生物的な事物・現象に関心、探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、態度を身につけようとする。		生物的な事物・現象に問題を見出し、事象を実証的、論理的に考え、分析し、また総合的に考え、科学的に判断できる。		自然の事物・現象を科学的に探究する方法を身につけ、それらの過程や結果及び考えを的確に表現することができる。		生物に関する事物・現象について、基本的な概念や、原理・法則を理解し、身につけている。	
評価の方法	単元テスト	30%	レポート	30%	成果物	20%	授業態度	20%
教科書・教材等	第一学習社『高等学校　改訂　生物基礎』 第一学習社『標準セミナー　生物基礎』							
授業形態	一斉							

年間学習計画

学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ
1	4	第1編　生物と遺伝子	第1章　生物の特徴 生物の多様性と共通性　細胞とエネルギー	14		
	5	生物「生命現象と物質」履修中				
	5	第1編　生物と遺伝子	第2章　遺伝子とその働き 遺伝子の本体の構造　遺伝情報の複製と分配　遺伝情報とタンパク質の合成	14		
	6	生物「生命現象と物質」履修中				
	7	第2編　生物の体内環境の維持	第3章　生物の体内環境 体液とその働き　体内環境の維持のしくみ　生体防御	20		
2	8	夏季休業				
	9	生物「生命現象と物質」履修中				
	9	第3編　生物の多様性と生態系	第4章　植物の多様性と分布 植生と遷移　バイオームとその分布	15		
	10		第5章　生態系とその保全 生態系　生態系のバランスと保全	15		
	11	生物「生命現象と物質」履修中				
	12					
	12	冬季休業				
3	1	生物「生命現象と物質				
	2	生物「生殖と発生」履修中				
	3					

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
理科	生物	2	自然探究コース2年	選択

科目の目標	生物や生物現象への関心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに，生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的な自然観を育成する。							
学習内容の概要	「生命現象と物質」，「生殖と発生」について理解する。 生物学的な探究の方法を身に付けさせる。 生物や生物現象と日常生活や社会とのかかわりを考えることができるようにする。							
評価の観点	関心・意欲・態度		思考・判断		観察・実験の技能・表現		知識・理解	
	生物的な事物・現象に関心、探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、態度を身につけようとする。		生物的な事物・現象に問題を見出し、事象を実証的、論理的に考え、分析し、また総合的に考え、科学的に判断できる。		自然の事物・現象を科学的に探究する方法を身につけ、それらの過程や結果及び考えを的確に表現することができる。		生物に関する事物・現象について、基本的な概念や、原理・法則を理解し、身につけている。	
評価の方法	単元テスト	30%	レポート	30%	成果物	20%	授業態度	20%
教科書・教材等	第一学習社『高等学校　改訂　生物』 第一学習社『セミナー　生物基礎＋生物』							
授業形態	一斉							

年間学習計画

学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ
1	4	生基「生物の特徴」履修中			○	10
	5	第1編　生命現象と物質	第1章　細胞と分子 生体物質と細胞/細胞膜の働きとタンパク質	6		
		生基「遺伝子とその働き」履修中				
	6	第1編　生命現象と物質	第3章　遺伝情報の発現 遺伝情報とその発現	4		
	7	生基「生物の体内環境の維持」履修中			○	14　16
2	8					
	9	第1編　生命現象と物質	第1章　細胞と分子 さまざまなタンパク質	6		
	10	生基「生物の多様性と生態系」履修中				
		生基「生態系とその保全」履修中				
	11					
	12	第1編　生命現象と物質	第2章　代謝 代謝とエネルギー　炭酸同化　窒素同化　異化	16		
		冬季休業				
3	1	第1編　生命現象と物質	第3章　遺伝情報の発現 遺伝情報とその発現　遺伝子の発現調節　バイオテクノロジー	20		
	2	第2編　生殖と発生	第4章　生殖と発生 有性生殖における遺伝的多様性　植物の発生	16		
	3	総合演習	生物基礎範囲　演習	10		

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
保健体育	体育	2	高校2年	必修

科目の目標	①各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付ける。 ②運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 ③生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。			
学習内容の概要	単元ごとの目標を明確にし，必要に応じて情報提供をおこなったり，自らインターネットや本で情報を集めたりするなど，健康に対する意識を高められるような授業展開をする。 内容は，運動に関する領域及び知識に関する領域で構成されている。運動に関する領域は，「体つくり運動」，「器械運動」，「陸上競技」，「球技」，「武道」及び「ダンス」であり，知識に関する領域は，「体育理論」である。			
評価の観点	学びに向かう力・人間性	思考・判断・表現	技能	知識
	自ら進んで運動の楽しさや喜びを体得しようとする。 公正・協力・責任・参画などの社会的態度が身に付いているか。	自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己(や仲間)の考えたことを他者に伝えることができる。	自己の能力に適した課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の特性に応じた技能を身に付けている。	運動の特性と学び方、安全の確保の仕方、運動の心身にわたる効果に関する基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。
評価の方法	30 %	10 %	40 %	20 %
教科書・教材等	**Active Sports 2020（総合版） 大修館書店**			
授業形態	**2クラス合同、男女別**			

年間学習計画

学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ		
1	4	体つくり運動	・集団・整列 ・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動・体力テスト	4				
		陸上	(長距離走)リラックスした走り、自分にあったピッチとストライドを見つける。		○	1		
	5			8	○	1		
		球技3 ゴール型 「バスケットボール」	・パス、シュート、ドリブル等の基礎的なことから試合展開。					
	6			6	○	1		
		球技5 ゴール型 「ハンドボール」 体育理論	ハンドボール ・パス、シュート、ドリブル等の基礎的なことから試合展開		○	1	8	
	7			8				
	8							
2	9	**球技1ネット型 「バドミントン」**	・ラケットの持ち方とルールの確認 ・各ショットの練習 ・試合	8	○	1	8	
	10	球技4 ゴール型 「サッカー」	・パス練習 ・シュート練習 ・試合	8	○	1	8	
	11	球技2/体育理論 ベースボール型 「ソフトボール」	・打撃、捕球、送球などの用具操作 ・走者と連携した打撃による攻撃とその守備 ・試合	8	○	1	8	
	12	器械運動	マット運動・跳び箱 ・グループで教え合い、技の練習	8	○	1	8	16
3	1							
		球技6 ネット型 「卓球」	・ラケットの持ち方の確認 ・各ショットの練習 ・試合	6				
	2							
	3	球技 バレー(男女合同)	・試合	6				

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
保健体育	保健	1	高校2年	必修

科目の目標	①個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 ②健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 ③生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。		
学習内容の概要	現代社会と健康 ①健康の考え方 ②現代の感染症とその予防 ③生活習慣病などの予防と回復 ④喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 ⑤精神疾患の予防と回復		
評価の観点	学びに向かう力・人間性	思考・判断・表現	知識
	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養おうとする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養おうとする。	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけている。
評価の方法	30 %	10 %	60 %
教科書・教材等	最新高等　保健体育【改訂版】・最新高等　保健体育ノート　　大修館書店		
授業形態	2クラス合同、男女別		

年間学習計画

学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ		
1	4	生涯を通じる健康	思春期と健康	3	○	1	3	10
	5		性への関心・欲求と性行動	3				
	6		妊娠・出産と健康	3				
	7		避妊法と人工妊娠中絶	5				
	8							
2	9	社会生活と健康	結婚生活と健康	3				
	10		中高年期と健康	3				
	11		医薬品とその活用	3				
	12		医療サービスとその活用	3				
3	1		さまざまな保健活動や対策	3				
	2		大気汚染と健康、水質汚濁、土壌汚染と健康 環境汚染を防ぐ取り組み	3				
	3		ごみの処理と上下水道の整備 食品の安全を守る運動 働くことと健康、働く人の健康づくり	3				

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
外国語	コミュニケーション英語II	6	高校2年	必修

科目の目標	① やや複雑な構文の英文を読み取り、筆者の意図を読み取る。 ② 文章の構造を理解し、論理展開の流れを身につける。 ③ 自ら論理的な文章を組み立て、正確で自然な英文で相手に伝えられるようにする。			
学習内容の概要	英文の構造を理解するため、文型を区別し、節、イディオム、語彙を深く理解する。 音読やListeningを通して、英文や英語の世界観を体得する。 英語圏の文化や考え方を深く理解し、英語のこころを体験する。 文法、語法、イディオムを理解し使えるようにする。			
評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力（話すこと・読むこと・書くこと）	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
	コミュニケーションに関心を持ち、積極的な態度で聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動に参加しているか。	様々な話題に関して、情報や考え方など相手に伝えようとする事柄を英語で話したり、書いたりして適切に表現することができるか。	様々な話題に関して、情報や考え方など、相手が伝えようとする事柄を的確に理解することができるか。また、聞き手に伝わるよに適切に音読することができるか。	様々な話題についての学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともに、その背景にある文化などを理解しているか。
評価の方法	探究スキルラーニングでの成果(演劇・レポート・発表など) 提出物 全活動における意欲と態度	40%	単元末テスト	60%
教科書・教材等	PRISM READING 2(ケンブリッジ大学出版) MAINSTREAM 11 、MAINSTREAM 11 Workbook (増進堂) New Frame 860(桐原書店)			
授業形態	習熟度別			

年間学習計画

学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ		
1	4		ガイダンス	1				
	5	PRISM READING 2 UNIT1-3	動物、環境、交通について文献やウェブページ、エッセイの形で書かれた長文を読む。 文の内容予測、大まかな内容、細部の内容の読み方を学ぶ。	55				
	6							
	7							
		NEW Frame 650 STEP01-06	時制・態・助動詞・不定詞・動名詞について学ぶ。	22				
2	8		探究スキルラーニング① 交通	4	○	1		
	9	PRISM READING 2 UNIT4-7	文化と伝統、健康、発明、ファッションについて文献やエッセイの形で書かれた長文を読む。 注釈(annotating)、推論(making inferences)、拾い読み(scanning)、事実と意見を分ける読み方について学ぶ。	56				
	10							
	11		オンラインスピーキング受講(計10回 ～1月中旬まで)	10				
			探究スキルラーニング② ミミクリー	8	○	3	5	15
	12	NEW Frame 650 STEP07-12	分詞・動詞の語法・イディオム・仮定法・比較・代名詞について学ぶ。	18				
3	1	PRISM READING 2 UNIT 8	経済ついて文献の形で書かれた長文を読む。 要点の読み方(skimming)、グラフの読み方について学ぶ。	14				
	2	NEW Frame 650 STEP13-21	形容詞・副詞・関係詞・接続詞・疑問と否定・名詞と冠詞・前置詞・イディオムについて学ぶ。	28				
	3		高校総復習	18				

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
総合的な探究の時間	探究基礎Ⅴ	2	高校2年	必修

科目の目標	自ら仮説設定し，客観的な手法で仮説検証を行い，他者へ的確に説明できるようになる。
学習内容の概要	一人一つのテーマを設定し，テーマに沿って研究計画を立て，調査し，論文執筆・発表を行う。これらの活動はseikai6.1もしくはデザイン思考の手順に沿って進めていくこととし，調べ学習で終わらず，深い学びとなることを最も大切にしたい。たくさんの時間をかけて行うので，価値ある時間と研究結果が得られるようがんばりましょう。
評価の観点	各フェーズ毎に準備されているルーブリックを活用します。
評価の方法	成果物　　発表
教科書・教材等	学びの技
授業形態	一斉

年間学習計画

学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ		
1	4	オリエンテーション	全体スケジュール	4	○			
	5	テーマ設定	ルーブリック1	16		1	6	
	6							
	7	探究年間スケジュール設定	ルーブリック2	8		2	7	
2	8	実験・調査設計，アイデア創出	ルーブリック3	4		3	4	
	9	実験・調査，プロトタイプ作成	ルーブリック4	10		5	10	13
	10							
	11		ルーブリック5	10		9	11	
	12	研究のまとめ		4		8	12	
		研究要旨作成		4		15		
3	1	研究のまとめ		4		14		
		発表準備	ルーブリック6	14		16		
	2							
		青開学会						
	3	論文執筆	ルーブリック7	6		8	15	